

2024年9月13日
マクセル株式会社

小野事業所に新ラインを構築し、一次電池の生産能力を増強 医療機器向け電池の需要拡大に伴い、約50億円を投資



医療機器向け一次電池を増産するマクセル株式会社 小野事業所

マクセル株式会社(取締役社長:中村 啓次/以下、マクセル)は、今後需要拡大が見込まれる医療機器向け一次電池の増産を図るため、小野事業所(兵庫県小野市)の生産設備の増強と建屋の増築に約50億円を投資し、2027年度中をめどに医療機器向け一次電池の生産能力を現在の約2倍*1に増強します。

小野事業所は1992年に操業を開始した事業所であり、主にアルカリボタン電池、酸化銀電池、コイン形リチウム電池などの一次電池を生産しています。これらの電池は、持続血糖モニタリング(CGM*2)やカプセル内視鏡などの小型医療機器に使用されています。医療機器向けの一次電池は今後もグローバル市場での需要拡大が見込まれるとともに、より高品質な製品の供給が求められています。マクセルの一次電池は、長年培った封止技術、長寿命技術により医療機器向けの電池に求められる高い信頼性を実現しています。

今回の投資は、2024年6月5日に公表した中期経営計画MEX26の期間における約350億円の成長投資の一環です。マクセルは、今後も一次電池の技術開発・生産拠点である小野事業所から多様なニーズに応える信頼性の高い電池を提供し、社会の発展に貢献していきます。

*1 現在の約2倍:2024年7月時点のマクセルの医療機器向け一次電池の生産能力との比較。

*2 CGM: Continuous Glucose Monitoring

■ 建屋増築の概要

所在地	兵庫県小野市匠台 5
増築面積	約 5,600 平方メートル
完工予定	2027 年 10 月予定

■ 産業用電池 Web ページ

<https://biz.maxell.com/ja/batteries/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

マクセル株式会社 コーポレート・コミュニケーション本部

お問い合わせフォーム: <https://maxell.tayori.com/f/tayori-01/>

以上

ニュースリリース、お知らせに記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日時点のものです。

予告なしに変更され、発表日と情報が異なる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
